フランス式庭園

校章

農林高校新聞

Yamanashi prefectural norin high school

発行者
山梨県立農林高等学校
甲斐市西西八幡4533
TEL 055 - 276 - 2611
FAX 055 - 279 - 1413

50 cm 革命

校長　古郡　文春

私たちは、昨年度から猛威を振るった新型コロナ感染症の記憶を消すことができません。生徒の皆さんも、苦しく長く続いた休校生活に、気持ちの整理がつかないまま日々を過ごしたのではないでしょうか。休校期間中、ある新聞の高校生のエッセーに目がとまりました。それには、『毎日のようにあった部活動もなく、学校があることの大切さも考えさせられました。「もうこんな生活は嫌だ」と思っていた時、一回良い言葉で言い換えてみようと思いました。「自分を自分で作る期間」。この言葉が好きな事を伸ばせる、自分の弱点を克服できるチャンスだと思いました。（中略）忙しくて感じなかった事を今、心から感じています』。多くの高校生は、同じような想いを抱きながらこの期間を過ごしたのではないでしょうか。

さて本年度、本校の教育目標の中に「夢と希望を持ち、新しい価値の創造に向けて、たくましくしなやかに未来を拓く人となってほしい」と掲げさせていただきました。これは本県の教育振興基本計画、基本理念の目指す姿（未来を拓くひと）を参考にいたしました。これからの時代は、新しい知識・情報・技術が飛躍的に進展し、社会や生活を大きく変えていくと予測されています。このような情報化時代の中においても、コンピューターで代替できない夢・志・想像力や芸術的な感性、柔軟な対応力といった人間力がますます重要視されます。そのためには、本校の恵まれた環境の下、高き志を常とし「昨日の自分を超えて行く」という心構えで学び続け、意欲を持って考え抜き、グループで学び合い、創発的に何かを生み出してほしいと願っています。一人ひとりが勇気を持って第一歩を踏み出す50 cm革命※1を起こしてください。

昨年度、本校の生徒諸君は、様々な場面で「50 cm 革命」を起こしてくれました。その内のいくつかを紹介します。まず、農業クラブ「全国高校生農業アクション大賞」を受賞（地域の方を招いての芋煮会）。県産ヒノキを用い製作した演台を贈る（森林科学科の生徒が製作した演台を甲斐市に寄付、本年は、中学校に寄付）。造園緑地科「全国デザインコンクール」に5名が入選。食品科学科「イオンモールでコラボ企画」。システム園芸科「ワサビ栽培に挑戦」。環境土木科「建築CAD認定校」。農林高校生、高き志を胸にインフルエンサー※2として活躍することを期待しています。

※1：経産省「未来の教室」、次世代を生き抜く人間像として提唱した
※2：世間に与える影響力が大きい行動を行う人物

「律する」

1学年主任　中込　俊二

律すると辞書で調べると【①ある基準によって、物事を考えたり、処理したりする。②定める。規定する。】とあります。人が行動する場合、学校や社会、地域や友達同士の間でも必ず「基準」「規定」があり、それを「守る」ことが安全・安心につながります。

先生方も幼いころ「お天道様が見てるから悪い事はしちゃ駄目」とよく言われました。基準は「怒られる」「怒られない」といった他人の目が基準だったと思います。そして年（成長）とともに、基準の目を自分の心に作ること、それが自分を「律する」ということなのです。今皆さんは、この「律する」心を育てていく大切な時期です。それは何も難しくありません。普段の学校生活や部活動、家庭生活の中で、正しい制服の着用や携帯の使用時間を守る、仲間を思いやる心など「見ている・見ていない」、「怒られる・怒られない」からという基準で動くのではなく、なぜ必要なのかを考え行動しましょう。

思いやりのある集団、友達を注意し合える集団、何事にも全力で取り組む集団になってほしいと願っています。

遠隔教育の試み

新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休業中、生徒の学習機会を確保するため、学習課題を定期的に配布し、家庭学習が円滑に行えるよう取り組んで参りました。その中で、学習支援としてインターネットを活用した授業等の配信を2つの方法で試行的に行いました。1つは「YouTube」を活用した授業動画の配信です。4月24日の課題郵送にあわせて、15本の動画をYouTubeにアップしました。動画の内容は、配布した課題の解説や学校ほ場の様子など、科目担当者が、学習支援や学校再開後の授業を目的として工夫して作成してくれました。学年を対象とした課題解説動画の再生回数は学年の在籍人数を大きく上回り、解説動画を複数回視聴し、繰り返し内容を確認していることがわかりました。もう1つは「Microsoft Teams」を使ったオンライン授業です。これは「Zoom」などと同じくビデオ会議等を行うことができるオンラインツールです。今回は、各自の端末にアプリをインストールさせ、5月20日～22日の3日間LHRと総合的な学習（探求）を中心に40分程度の授業を行いました。

どちらの方法も十分な準備が出来ず、改善の余地が大きくありますが、授業での学習支援や各HRでの連絡・コミュニケーションツールとして活用できると考えています。

オンライン授業の様子

生涯にわたり健康に生きる力の育成

生徒指導主事　坂本　篤

道徳教育の一環として昨年11月、荻原拓也氏（MUSE ASSOCIATION代表）による講演を一年生を対象に実施しました。当たり前のように過ごしている日々に感謝の気持ちを持つこと、自己を律して生活すること、夢や希望を抱き目標を見出すことの大切さについて、自らの活動を振り返りながらお話いただきました。

生徒のレポートには「人生を無駄にしない生き方をしたい。薬物を1回でもやってしまったら終わり。悪いことをすれば、自分の人生だけでは済まなくなる。」「いじめなどやってはいけないことをすれば、何年か経った後、必ず自分に返ってくる。つまらない人生にしたくないから、自分の生活について色々と考えていきたい。」「最近、とても辛いことが続いている。被災した高校生からのメッセージの音声を聞いた時は泣きそうになった。生きるのが辛いって思うけど、被災地では死にたくないのに死んじゃった人がたくさんいたことを改めて考えた。メッセージでは『死にたいなんて言わないでください』とも言っていた。命を無駄にできないと思った。今、何をすべきかを考えて毎日を精一杯生きていきたい。」「最後のサックス演奏がとても心に響いた。体育館いっぱいに響き渡った音色はとてもきれいで、あの音楽は私たちに何かを伝えようとしているんだと感じた。」等、前向きな記述が多く、中には悩みとの向き合い方について触れている内容もありました。このように、生徒たちは今後の人生について真剣に考え、講師荻原氏が説いた「大切にすべきこと」が、それぞれの心に響いたものと確信しております。今後も豊かな心を育む教育活動を充実させていきます。関係機関や地域の皆様には、引き続きご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。

講演会の様子

進路状況（過去三年間の主な実績）

〈就職〉

（株）キトー、（株）甲府明電舎、富士通アイ・ネットワークシステムズ（株）、（株）メッツ、三井農林（株）、（株）トリケミカル研究所、（株）平山、山梨積水（株）、（株）甲府大一実業、（株）コイケ、（株）光・彩、（株）はくばく、（株）桔梗屋、ニューロン製菓（株）、（株）サンキムラヤ、甲府東洋（株）、中部食品（株）、熊本県果実農業協同組合連合会、長田組土木（株）、（株）早野組、（株）萩原ボーリング、（株）森山組、共立建設（株）、東日本旅客鉄道（株）、（株）サカイ引越センター、（株）常磐ホテル、（株）うぶや、（株）オギノ、（株）いちやまマート、（株）岡島、（株）富士急ハイランド、日本郵便（株）、（有）山宮造園、河野造園土木（株）、弦間林業（有）、（有）原林業、（株）北杜リゾート「北の杜カントリー倶楽部」、（株）、（株）シャトレーゼヴィンテージ、恵信ヴィレッタ甲府、山梨県土地改良事業団連合会、中央森林組合、海上自衛隊一般曹候補生、陸上自衛隊自衛官候補生

〈進学〉

山梨学院大学、健康科学大学、帝京科学大学、ものつくり大学、東京農業大学、城西大学、城西国際大学、九州共立大学、拓殖大学、大東文化大学、神奈川大学、神奈川工科大学、吉備国際大学、山梨学院短期大学、帝京学園短期大学、山梨県立農業大学校、山梨県立産業技術短期大学校、山梨県立宝石美術専門学校、甲府看護専門学校、共立高等看護学院、山梨県立峡南高等技術専門校、山梨秀峰調理師専門学校、武蔵野調理専門学校、山梨県美容専門学校、早稲田美容専門学校、甲府医療秘書学院、サンテクノカレッジ、東京環境工科専門学校、大原学園甲府校、優和福祉専門学校、日本工学院八王子専門学校、町田デザイン専門学校

〈令和元年度卒業生〉

○就職　84名　・　進学　51名

○進学の内訳

大学　12名　・　短大　5名　・　専門学校　34名

手作りの演台制作

昨年度、甲斐市制15周年を記念して森林科学科の生徒が作成した演台を8月30日に寄贈しました。今年度も森林科学科の生徒が協力した演台を甲斐市内の小中学校向けに作成する予定です。

専門高校生資格取得サポート事業給付金について

農場長　嶋津　文彦

今年度、県内の公立高校の農業・工業・商業系の課程に学ぶ生徒（奨学給付金の受給認定の世帯）を対象に、専門分野の進路に進むために有効な資格検定試験に対して、受験料の一部が給付されます。12月以降、各資格の担当職員が対象者に手続きの仕方を説明します。

一．対象

当該年度の7月1日状況において、少額給付金の需給認定を受けている世帯（市町村税所得割が非課税：年収約250万円未満程度の世帯）が対象

二．支給額

当該年度に受験した職業系資格・検定の受験料の合計額の二分の一（上限一万円）

三．有効な資格・検定試験の受験料領収書の期間

支給年度の4月1日から1月31日

四．本校の学科に関する給付対象資格・検定

技能検定（園芸装飾二、三級）（造園二、三級）（フラワー装飾二、三級）、二級土木施工管理技術検定試験、危険物取扱者（甲種・乙種）、トレース技能検定、日本農業技術検定、建築ＣＡＤ検定試験、測量士補

技能検定の様子

地元伝統野菜でつなぐ高齢者との地域交流活動

農業クラブ本会役員が、学校がある八幡地区の伝統野菜である「八幡芋」を活用した地域交流活動を始めてから、今年で6年目を迎えます。回数を重ねるごとに参加者が増え、昨年度は保坂武甲斐市長様にも参加いただき、盛大に開催しました。特に、玉幡中学生等9名が、農業クラブ本会役員生徒と一緒になって活動できたことで地元に根付く活動へとつなげる貴重な機会となりました。参加した本校生徒は、運営業務だけでなく、高齢者との会話や触れ合いにより、自分を見つめ、協力することの大切さや他者への思いやりなど学ぶ機会となりました。

参加した生徒は「前日の準備から片付けまで、忙しく緊張した2日間でしたが、年齢層の幅が広く、日頃から話す機会がない私にとっては、とても有意義な時間を過ごすことができました。お年寄りから教えていただいた火起こしや餅つきは、とても楽しく勉強になりました。是非、家でも餅つきをしてみたいと思いました。芋煮会の会食では、地域の方から声を掛けていただき、楽しい会食になりました。また「東京オリンピックの今と昔」というテーマでの座談会では、丁度、カラーテレビに切り替わる頃だった思い出の話を聞くことができました。来年度の芋煮会は、もっと多くの人にこの活動を紹介し、盛り上げていきたいと思っています。」などの感想が寄せられました、この経験が自己肯定感を育むとともに責任感ややりがいを体感する機会となっています。

「がんばろう山梨！」花メッセージ

システム園芸科で、本校北側のアルプス通り面するフェンスに、「がんばろう山梨」と文字をかたどった花メッセージを作りました。地域の住民やアルプス通りを通勤・通学で利用する方々に少しでも元気を出してもらえるように、学校で栽培しているナデシコで飾り付けました。壁面飾花は乾燥しやすいので、飾った後のかん水等の管理も大変ですが、見て頂いた方が少しでも元気になればと思います。

今回、花メッセージを飾ったところ、テレビ・新聞の取材等、多くの反響がありました。今後はプロジェクト学習の一環として、生徒がデザイン等を考えて継続して作成していきたいと思います。

学校説明会アグリサイエンス講座

今年度の学校説明会は12月5日（土）に、実施します。詳しい学校の様子がわかります。また、前期募集検査も含めて入試の話や進路指導に関する話も聞けます。ぜひ学校説明会に参加してください。職員・生徒一同お待ちしております。申し込みは、中学校の先生を通してお願いします。

また、中学生向けアグリサイエンス講座を10月～12月に7講座実施する予定です。各学科での特性を生かした楽しい講座です。積極的にご参加ください。

学校Web サイトもご覧ください

http://www.norinh.kai.ed.jp/